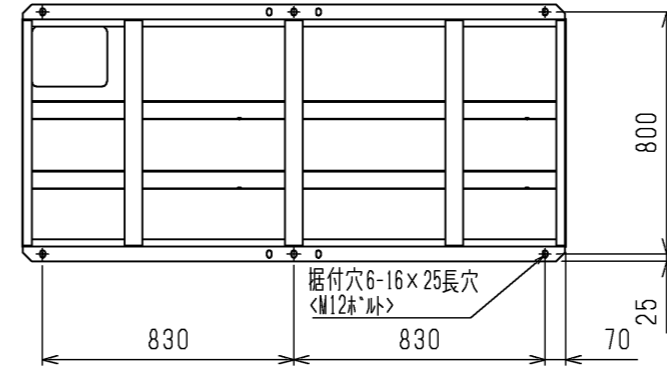


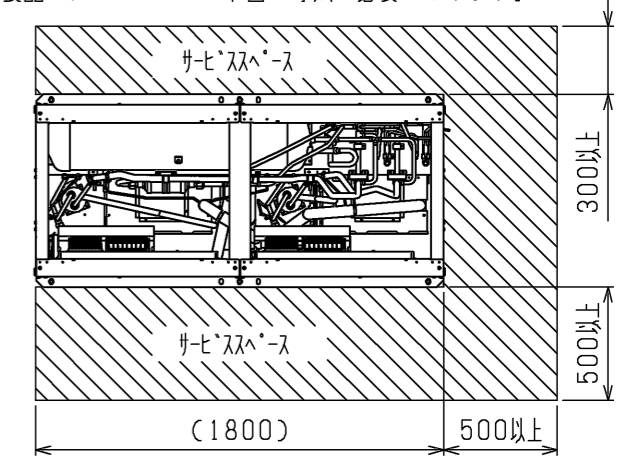
1. 据付ピッチ

振動が据付部から伝搬し床・壁面から騒音や振動が発生する場合がありますので、必要に応じ十分な防振工事を行ってください。



2. サビスペース

本製品のサビスペースには下図の寸法が必要となります。



※製品の背面側にもサビスペースを設けてください。
また、左側面に配線取出し分のスペースが必要となります。

3. 据付ボルト

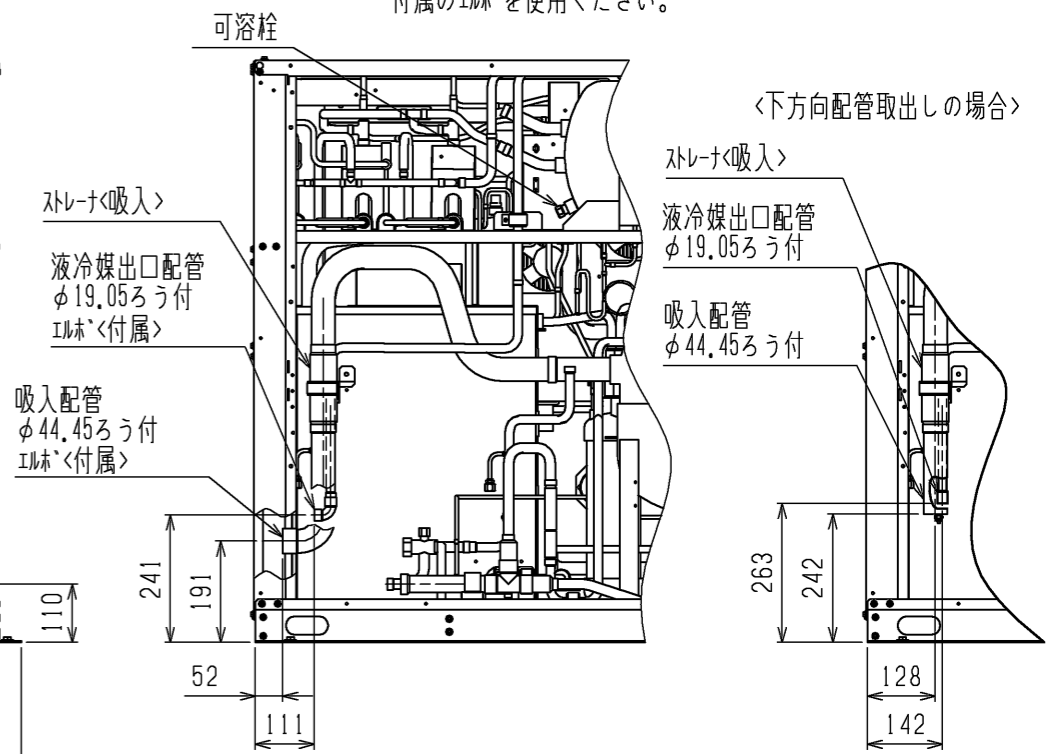
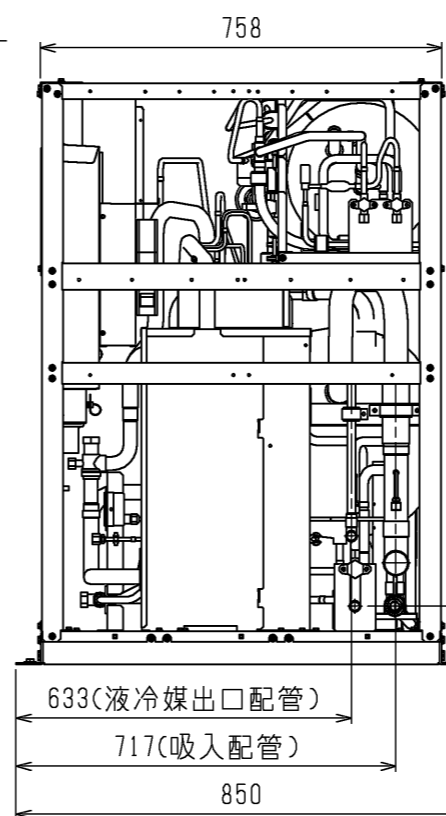
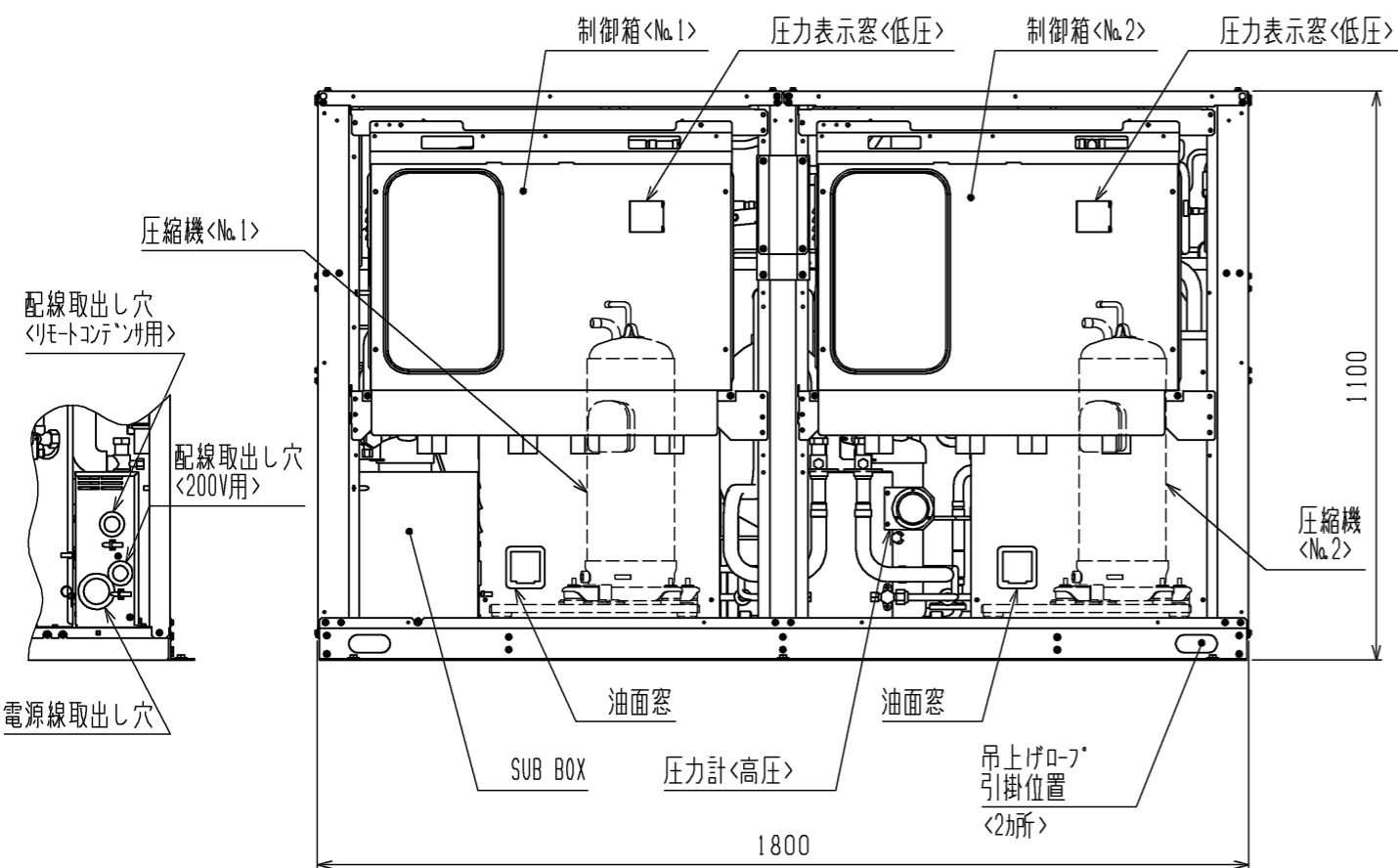
M12の据付ボルトでエッジ据付足を6ヵ所強固に固定してください。
<据付ボルト、座金、ナット等は現地手配です。>



防振パッドの大きさは100×100以上としてください。
<推奨品 フリチン製 IP-1003>

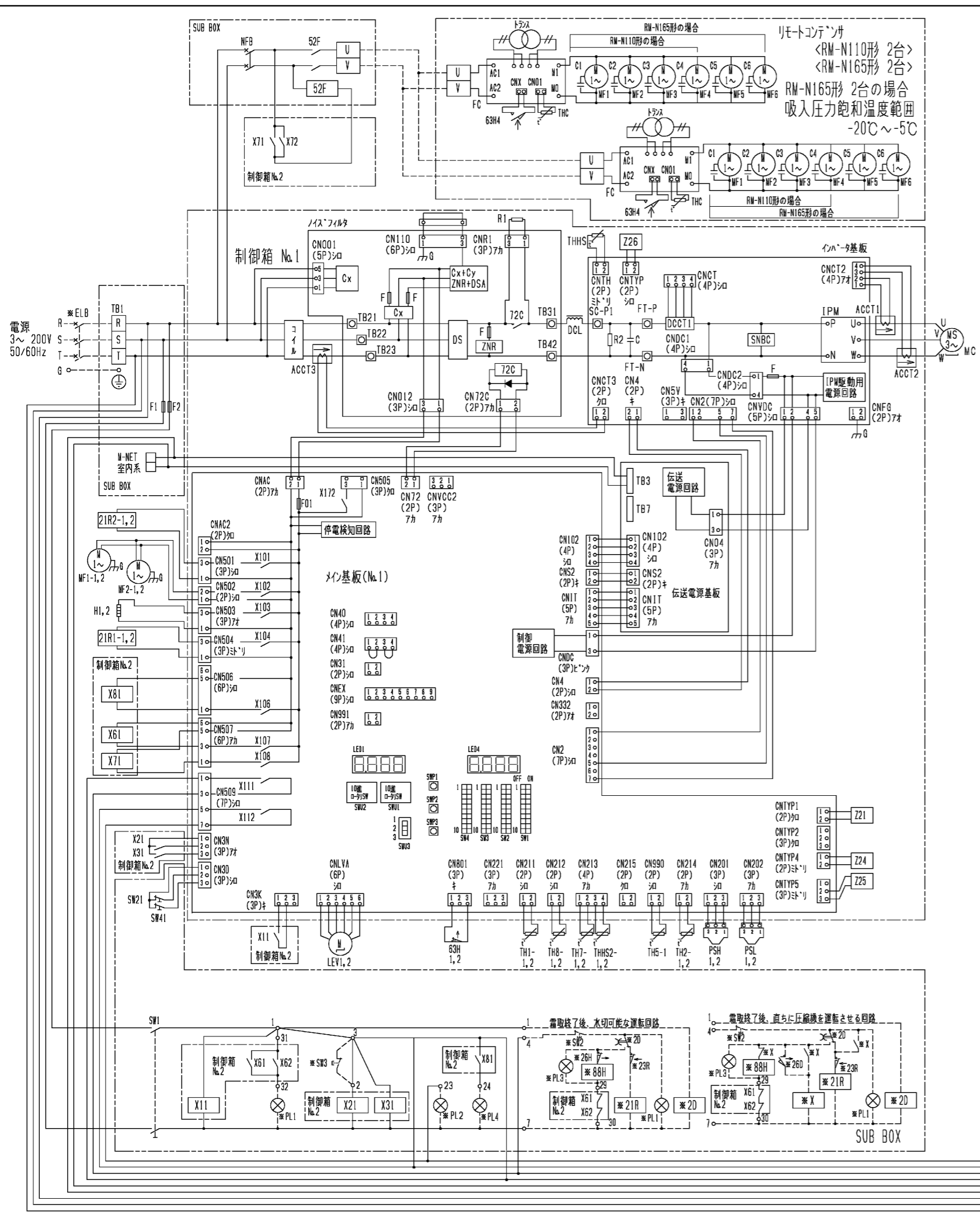
4. 配管施工

吸入配管、液冷媒出口配管の右方向配管取出しを実施する場合は、付属のエルボを使用してください。



注. 製品の仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。

	作成日付 ISSUED	改定日付 REVISED	TITLE	リモート空冷式インバータスクロール形マルチ 圧縮ユニット外形図 ECV-EN225DCA	DRW.NO.	REV.	PAGE
	DIM. mm	15-02-02					
SCALE	NTS			三菱電機株式会社	W KN94T986		1/1



- 注1. ※印の機器は、現地手配となります。
 2. ---線は、現地配線となります。また回路は「コネクタ」回路方式の場合を示します。
 3. 端子23-7, 4-7の間に回路を接続する場合は、0.45Aを超えないようにしてください。
 4. 接点の矢印は、圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
 5. SW2, SW3, PL1~3の現地手配機器は別途「リモートコンテナ」図として別売しています。
 SW3はモータ動作の押ボタンが限定です。モータ動作ボタンを押すとON状態に戻るスイッチ
 SW3を取付ける場合は、2~3回の配線は必ず取外してください。
 7. X61, X62のb接点は、コネクタユニットと電熱器(露取)の同時通電を防止するための回路です。
 複数のケースを個別に運転する場合は、端子7と88Hを接続してください。
 8. PL1は端子32-7の間に接続すると、圧縮機のON/OFFに連動して表示灯が点灯します。
 SW2の後に接続すると、圧縮機のON/OFFに連動して表示灯が点灯させることができます。
 9. 基板異常時の応急処置については工事説明書を参照願います。
 10. 制御箱No.2の配線図は、図に示す部位以外は制御箱No.1と同じです。

記号説明：圧縮ユニット

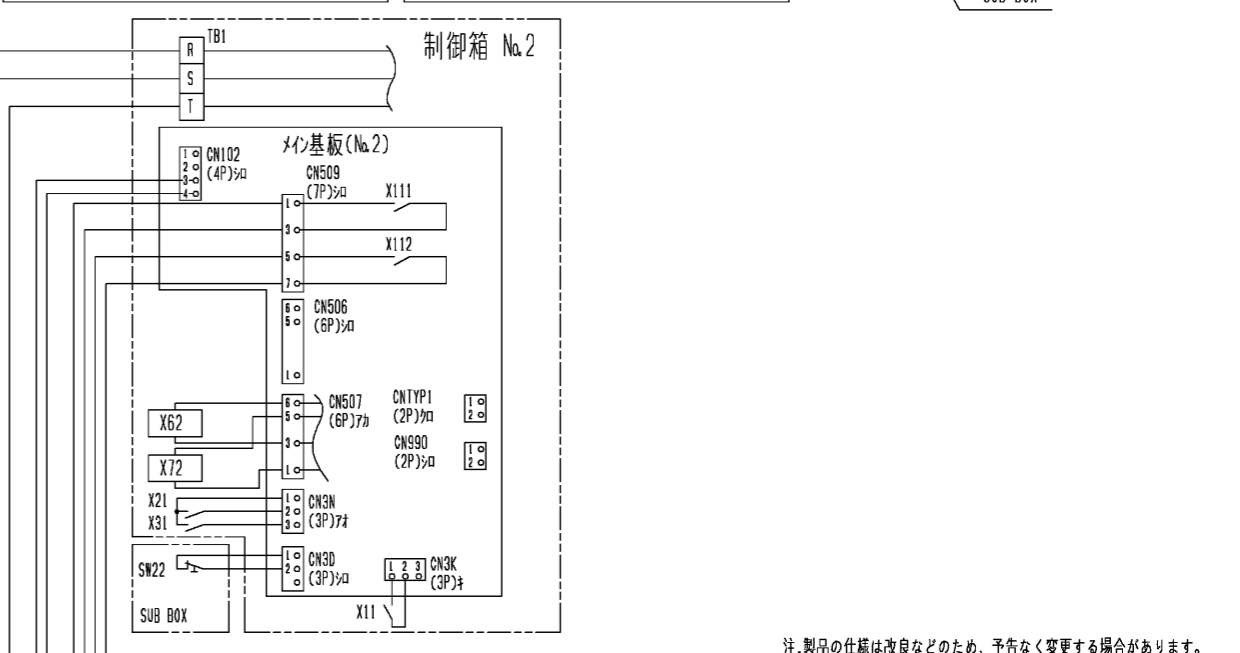
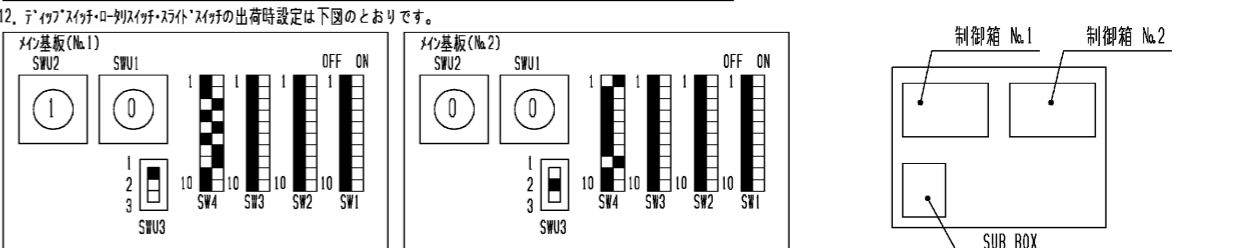
記号	名称	記号	名称	記号	名称
ACCT1	電流セタ	LEV1, 2	電子膨張弁<No.1, 2>の放熱板温度>	THS2-1, 2	サニタ<No.1, 2>の放熱板温度>
ACCT2	電流セタ	WC1, 2	圧縮機用電動機<No.1, 2>	TH1-1, 2	サニタ<No.1, 2>の吐出管温度>
ACCT3	電流セタ	WF1-1, 2	送風機用電動機<No.1, 2>	TH2-1, 2	サニタ<No.1, 2>の圧縮機オイル温度>
C	コネクタ<電解>	WF2-1, 2	送風機用電動機<No.1, 2>	TH5-1	サニタ<凝縮温度>
DCL	直流リミッタ	NFB	ブレーキリモートコンテナ:30A	TH7-1, 2	サニタ<No.1, 2>の吸入管温度>
DCCT1	電流セタ<直流電流>	PSH1, 2	圧力セタ<No.1, 2>の高圧	TH8-1, 2	サニタ<No.1, 2>の液管温度>
DS	タイマスタック	PSL1, 2	圧力セタ<No.1, 2>の低圧	X11	補助電磁器
F1	ヒューズ<制御回路:5A>	SW1	スイッチ<運転-停止>	X21	補助電磁器
F2	ヒューズ<制御回路:5A>	SW21	スイッチ<No.1>の個別運転	X31	補助電磁器
G	接地<アース>	SW22	スイッチ<No.2>の個別運転	X61, 62	補助電磁器
H1, 2	電熱器<No.1, 2>の放熱板温度>	SW41	スイッチ<通常-固定>	X71, X72	補助電磁器
IPM	インバータモジュール	THS1-1, 2	サニタ<No.1, 2>の放熱板温度>	X81	補助電磁器

※ELB	漏電遮断器	※PL4	表示灯<フレーム>の点灯	※2D	タイマスイッチ<露取>	※26H	温度開閉器<過熱防止>
※PL1	表示灯<運転-停止>	※SW2	スイッチ<運転-停止>の「コネクタ」	※21R	電磁弁<液>	※88H	電磁接触器<電熱器>
※PL2	表示灯<異常>の点灯	※SW3	スイッチ<異常リセット>	※23R	温度調節器<庫内>		
※PL3	表示灯<露取>の点灯	※X	補助電磁器	※26D	温度開閉器<露取終了>		

記号説明：リモートコンテナ

C1~6	コネクタ<送風機用電動機>	MF1~6	送風機用電動機	THC	サニタ<凝縮温度>	63H4	圧力開閉器<コネクタの「コネクタ」>
FC	電子ファンコントローラ						

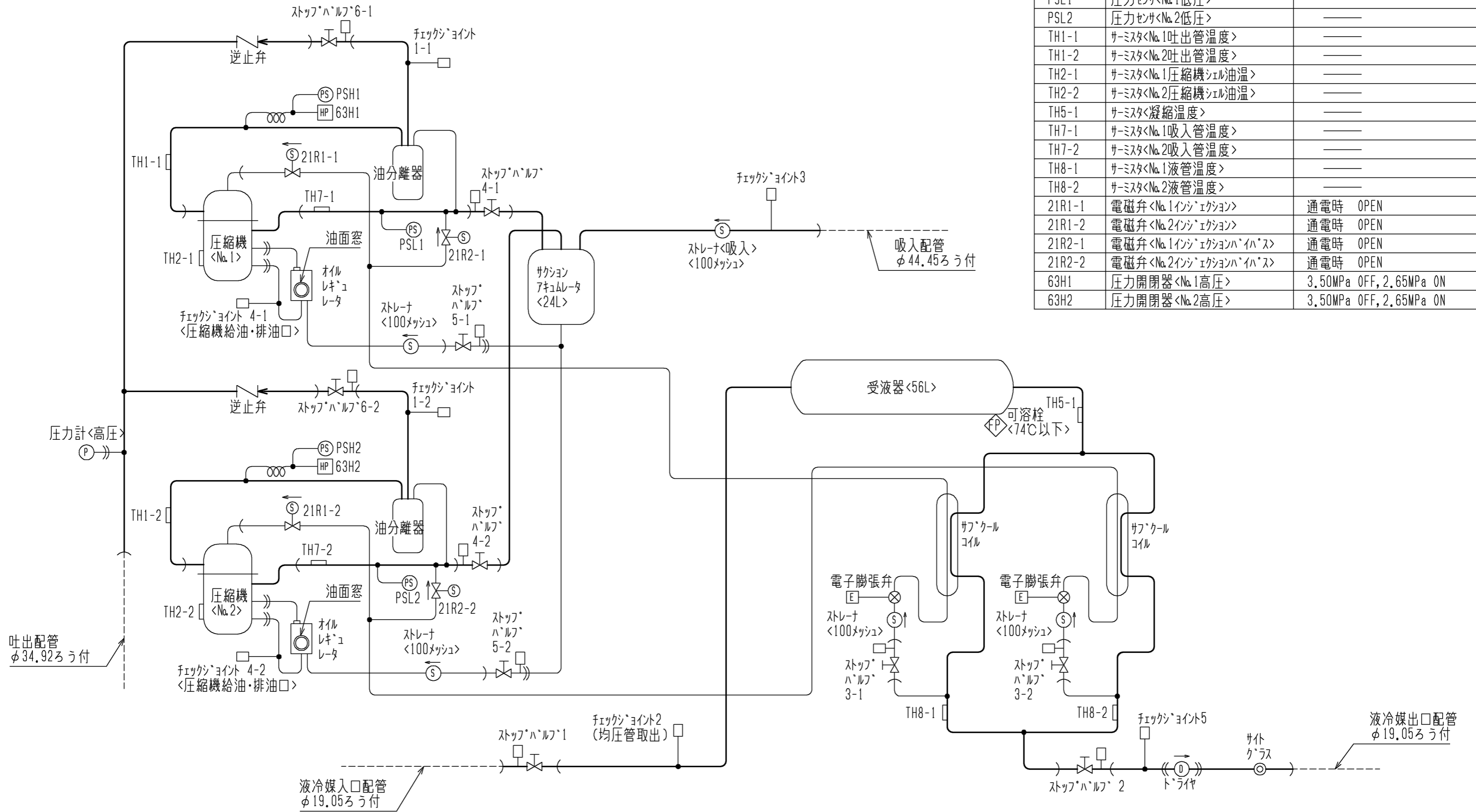
11. X101, X102, X103, X104, X106, X107, X108, X111, X112はメイン基板の出力接点を示し、動作は下表のとおりです。
- | | |
|------------------------|--|
| X101 | 圧縮機が起動時、運転周波数が30HzになるまではON。左記以外はOFF |
| X103 | 圧縮機が停止時はON。圧縮機が運転時はOFF |
| X102, X104, X107, X108 | 圧縮機が運転時はON。圧縮機が停止時はOFF |
| X106 | ブレーキ検知時はON。その他はOFF |
| X111 | ユニットが正常時(運転可能)時はON。ユニットが異常時(運転不可)時はOFF |
| X112 | ユニットが異常時(運転不可)時はON。ユニットが正常時(運転可能)時はOFF |



注. 製品の仕様は改良などのため、予告なく変更する場合があります。

作成日付 ISSUED	15-05-14	改定日付 REVISED	15-12-24	TITLE	リモートコンテナ式インバータ形マフ 圧縮ユニット 電気回路図 ECV-EN225DCA
DIM. mm	15-05-14	SCALE	NTS	DRW.NO.	WKN94J953
				REV.	A
				PAGE	1/1

図中記号	機器名称	作動値
PSH1	圧力センサ<No.1高圧>	—
PSH2	圧力センサ<No.2高圧>	—
PSL1	圧力センサ<No.1低圧>	—
PSL2	圧力センサ<No.2低圧>	—
TH1-1	サーミスタ<No.1吐出管温度>	—
TH1-2	サーミスタ<No.2吐出管温度>	—
TH2-1	サーミスタ<No.1圧縮機シエル油温>	—
TH2-2	サーミスタ<No.2圧縮機シエル油温>	—
TH5-1	サーミスタ<凝縮温度>	—
TH7-1	サーミスタ<No.1吸入管温度>	—
TH7-2	サーミスタ<No.2吸入管温度>	—
TH8-1	サーミスタ<No.1液管温度>	—
TH8-2	サーミスタ<No.2液管温度>	—
21R1-1	電磁弁<No.1インジクション>	通電時 OPEN
21R1-2	電磁弁<No.2インジクション>	通電時 OPEN
21R2-1	電磁弁<No.1インジクションハイパス>	通電時 OPEN
21R2-2	電磁弁<No.2インジクションハイパス>	通電時 OPEN
63H1	圧力開閉器<No.1高圧>	3.50MPa OFF, 2.65MPa ON
63H2	圧力開閉器<No.2高圧>	3.50MPa OFF, 2.65MPa ON



注.製品の仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。

	作成日付 ISSUED	改定日付 REVISED	TITLE リモート空冷式インバータスクロール形マルチ 圧縮ユニット 冷媒回路図 ECV-EN225DCA		
	DIM. mm	15-11-04	17-08-07	DRW.NO. W KN94T985	REV. A
SCALE NTS	三菱電機株式会社			PAGE 1/1	